



School Volunteer KSSVCだより

Kobayashi Support Center

小林市教育委員会社会教育課 KSSVC 事務局 (TEL22-7912)

学校向け

先生の「ひとこと」から…

【社会科見学で】タブレットで写真を撮ろうとした子に…
「写真は後でね。最初はしっかり見て回しましょう」

【講話の最中】下を向き、一生懸命書いている子に…
「顔を上げて聞きましょう。メモは時々でいいですよ」

子どもたちの熱心さの表われなのでしょう。記録する「手段」のはずが「目的」になっている様子を時折見かけます。この時の先生方もそれを伝えたかったのだと思います。

ある雑誌の記事より… 商品紹介の資料を作る時、本来の目的は「売上を上げること」。しかし、綺麗な資料を作ることに時間を使ってしまうことが…

大人の世界でもよくあるようです。「KSSVCだよりの目的」は何なのか、時折考えます。

東方小 二原遺跡のオンライン授業 6年生

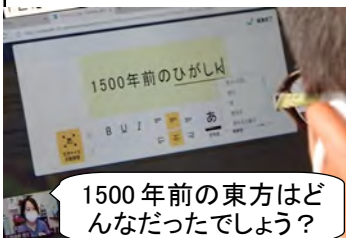


「古墳チーム」と「副葬品チーム」が、考察を発表

谷口先生(県埋蔵文化財センター)



発表内容が画面に表示されます。



1500年前の東方はどんなだったでしょう？

二原遺跡の副葬品などをもとに、古墳時代の生活を推測し発表。

谷口先生のアドバイスを参考に、話し合いを通して、再度、考えをまとめました。

【1500年前の東方は】 ◆ 他の地域と違う珍しい豪族がいた。 ◆ 身に付けているものが豪華なので、豊かな生活をしていた。 ◆ 独特の古墳の形などから、地域の文化を生活に生かし、自分たちの主張をしている人たちがいた。 ◆ 自然が豊かで住むのに適していた。

谷口先生からは「学習成果が大変優れています」と、おほめの言葉をいただきました。

この日は、市議会総務文教委員会の皆さんを始め、多くの方が来校。オンライン授業の様子に興味深く参観していました。

事務局でも、ネットを活用した授業を参観する機会が増えてきました。ICTの進歩に加え、コロナの影響も…

三松小 スマホ安全教室

6年生



テーマは「安全なスマホとの付き合い方」。視力や脳への影響、SNSで気をつけること、オンラインゲームの危険性などのお話を聞きました。

講師は本田さん(ドコモショップ小林店店長)

【質問の答えと感想より】 ◆ SNSでのトラブルの結果、いじめと不登校が多くなっています。 ◆ 皆さんの大切な時間に「いじめをしているひま」はありません。

◆ 安全なサイトかどうかを見分けるのは難しい。でも、フィルタリングやセキュリティソフトで防ぐことはできます。

◆ SNSでいろいろな人とつながることを学びました。使い方に気をつけます。 ◆ 知らないことがたくさんありました。気をつけて使い、あまり関わらないようにしたいです。

野尻中 情報モラル教室

松田さん(乳幼児メディアアドバイザー)



スマホに免許はいりません。でも、安全運転ができるよう学びましょう。

メディアによる心と体への影響やトラブルについてリモートで実施。写真とDVDを用いた説明やワークシートでの振り返り、グループでの話し合い活動などを通して理解を深めました。

【松田さんより ~身につけてほしいあなたのカ~】

- ◆ 自分のからだや脳は自分で守る
- ◆ 自己コントロールの力をもつ
- ◆ デジタルデトックス(自発的使用制限)の時間をつくる
- ◆ 「危ない」とか「嫌だ」と感じた時は離れる、逃げる
- ◆ 自分の気持ちや考えを相手にわかる言葉で伝える
- ◆ 見えない相手も思いやる

細野中 SNS情報安全教室

SNSの危険性を学び、事故や事件への備えをしておきましょう。



熱中症対策でマスクは外しています。

講師は本田さん。電話の進歩とコミュニケーションのお話では、2、30年前に使われていたポケベルのサイズもありました。「33414の意味は？」



【友人同士では】 ◆ 不要な画像や動画を送り合わない。

◆ 相手に配慮のある言葉かどうかを事前に判断しよう。

◆ 伝えやすくするには絵文字も効果的。

【お礼の言葉】 ◆ 被害者や加害者にならないよう、気をつけてSNSを使いたいです。



須木中 シェフのこばやし食育教室

シェフの料理を味わいながら、小林の食の豊かさを感じてください。谷川さん(地方創生課)



地井潤さん(Kokoya de kobayashi オーナーシェフ)



「食品ロスとSDGs」「食事のフルコース」「本日の献立」のお話を聞いた後、ワクワクしながらお弁当のふたを開け…。生徒たちは、味の感想を述べたりメニューを確認しながら、笑顔で昼食を楽しんでいました。(リモートで実施)

【質問の答えと感想より】 ◆ アンケートで聞いた皆さんが嫌いなものもあえて使っています。 ◆ 昨日から準備して、私1人で40分くらいかけて作り、スタッフ6人で盛り付けました。 ◆ 野菜は38種類。8割が小林産です。

- ◆ とてもおいしかったです。
- ◆ 嫌いなものもあったけど、いつもより食べられました。
- ◆ ゴーヤが苦手ですが、今日は気になりませんでした。

西小林中 手話教室

3年生



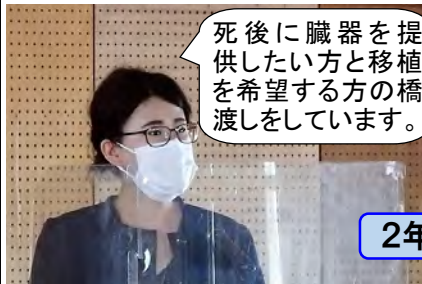
徳永さん(手話通訳派遣協会会長)と真方さん(木の実会)



聞こえない人の生活やコミュニケーションの方法について、補聴器や来訪者を知らせるライトなども使って学びました。その後、手話と指文字を使った自己紹介を覚え、発表しました。

【お礼の言葉】 手話を使う場面があったら、今日の体験を生かしたいです。

小林中 いのちの授業



2年生

中川かな子さん(臓器移植コーディネーター:宮崎県移植推進財団)



臓器移植を受けた人と、提供を決定した家族の思いがこぼれた手記を読んでいます。手記が載ったパンフレットと臓器提供意思表示カードをいただきました。

【お話より】 ◆ コーディネーターの仕事は「説得」ではなく、情報提供とお願いです。 ◆ 日本の臓器提供者数は世界でも低い水準。タイ・台湾・イランよりも少ないので、宗教や文化だけが理由ではないようです。

◆ 望んでいる人の2~3%しか移植を受けられない現実があります。 ◆ 心臓移植後の生存率で、日本は世界でも上位です。高度な医療技術はあるのですが…

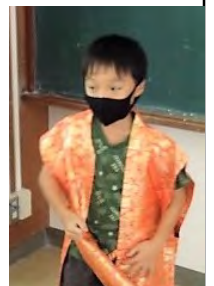


【お礼の言葉】

移植を待っている人が1万5千人もいることに驚きました。もしかしたら、私もそのような状況になるかもしれません。家族と話をしたと思います。

紙屋小 城攻め踊り

講話 4年生



手塚さん(保存会会長)



練習 4~6年生

紙屋小では、戦国時代の伊東と島津の争いを唄や踊りで表現した紙屋城攻め踊りを、運動会で披露しています。4年生は、例年、その歴史や衣装・道具について学んでから参加します。

練習では、保存会の皆さんに、動作や踊る間隔などを教えてもらい、勇壮な踊りを見せられました。伝統芸能の貴重な後継者たちです。



School Volunteer KSSVC だより

Kobayashi Support Center

小林市教育委員会社会教育課 KSSVC 事務局 (TEL22-7912)

学校向け

実りの秋です。いただいた計画表には、稲刈り・脱穀、芋ほり、そばの刈取の文字が並んでいました。

多くの子どもたちは、除草や水の管理をすることなく収穫を迎えます。未体験の作業内容をどう教え、協力いただいた方々への感謝をどう伝えるか、先生方も工夫していることでしょう。

これまでも、農業に関する授業や講話、生長の観察、お礼の手紙や感想文、地域の方を招待しての集会や収穫祭などを紹介してきました。各学校の「実りの秋」を楽しみにしています。



野尻小 棒踊り

5・6年生

東麓新地馬場 棒踊り保存会



踊りの入場「では」に取り組みました。細かな動きや間隔、掛け声などを教えてもらい、きれいな隊列での入場ができるようになりました。

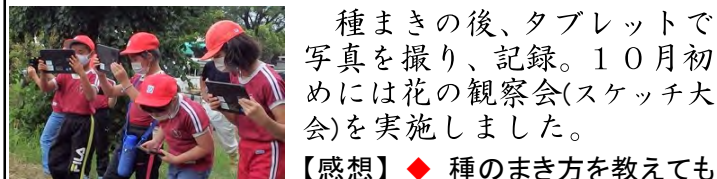


9月上旬に実施。そばは3~4日で発芽し、ひと月ちょっとで開花、11~12月に収穫できます。

そばの種まき



細野小 4年生



種まきの後、タブレットで写真を撮り、記録。10月初めには花の観察会(スケッチ大会)を実施しました。

【感想】◆ 種のまき方を教えてもらって上手にできたのでうれしかったです。◆ 土に埋めるのではなく、パラパラとまくやり方がわかりました。◆ 手の中で種がチクチクしておもしろかったです。◆ 今までしたことがなかったけど、今日習ったので、おじいちゃんの手伝いをします。(協力は営農組合・JAこばやし)

小林小 兵児踊り

4年生



小林小では、まず、先生方が講習を数回受け、それを児童に伝えて学校で練習します。この日は仕上げの練習。保存会の皆さんから、手や足の動き、腰の落とし方などを直接教えてもらいました。

永久津小 6年生
永久津中 1年生
永久津保育園



小・中学生・園児(年長組)がチームになり、協力して活動。畑の一画には、願いを込めて、「コロナニマケルナ」の文字が浮き出るようにまきました。そば打ちも計画しています。

食べ物がどのようにできていくのか、体験してください。



協力: JAこばやし

幸ヶ丘太鼓



響座の今村さんの指導を定期的に受けています。運動会直前のこの日は、隊形や打つ姿勢、声の出し方に加え、演奏に対する心構えについてのお話もありました。幸ヶ丘小全児童による太鼓の演奏は、地域の人たちの楽しみであり、地域の自慢です。



須木中 薬物乱用防止教室

松山さん(小林
こすもす薬局)



1回でも「乱用」になります。

進行と講師紹介を生徒が勤めました。

学校薬剤師の仕事・タバコとアルコール、薬物の恐ろしさ、断り方など、スライドと動画を用いて教えていただきました。

【お話より】◆タバコとお酒は薬物の第一歩。誘われて

も、はっきり断るか、その場を離れることが重要です。

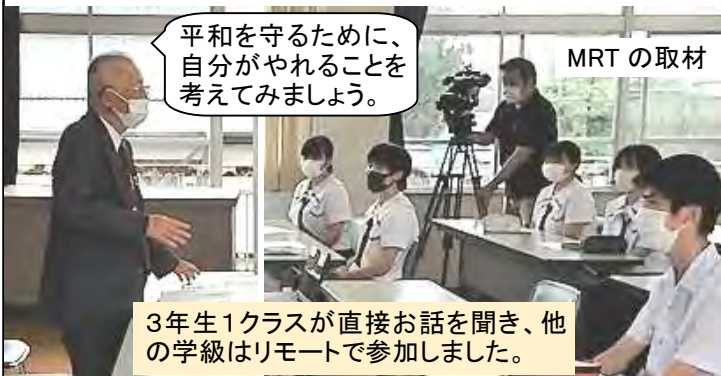
◆大切な自分を守るためのポイント

①自分が大切に思う人 ②自分のことを大切に思ってくれる人 ③自分が好きな物・事 ④これからやりたい事・将来の夢 ⑤薬物についての正しい知識

【お礼の言葉】タバコや薬物などの害についてよく分かりました。これから気を付けていきたいです。

小林中 平和学習

講師は桂木さん(90歳
元英語教師)



平和を守るために、自分がやれることを考えてみましょう。

MRTの取材

3年生1クラスが直接お話を聞き、他の学級はリモートで参加しました。



小学生で体験した戦争のお話や、自分と周りの人々を大切にすることが平和に繋がるという思いを語っていただきました。

【お話より】◆日本にとって8月はとても大切な月です。「平和の祭典」のオリンピックで、6日・9日の原爆忌に黙とう

をしてほしかったです。◆太平洋戦争で、約300万人の日本人(軍人と民間人)が犠牲になったと言われています。◆学校では竹やりで人を殺す訓練もしていました。戦争が激しくなると勉強どころではなかったです。◆皆さんの人生は、まだこれからです。生きていく中で、周りの人を大切にすることで、平和を身近に感じることができます。

【お礼の言葉】自分のことも、家族も友だちも、大切にしていきたいです。



東方小・中 輪太鼓踊り

5・6年生・中学生



学校で踊り始めて30年以上になるそうです。



コロナ禍で保存会の皆さんによる直接の指導が減り、中学生が中心になって取り組みました。3年生は太鼓のリズムを記した古い「楽譜」も参考にして練習したそうです。

郷土芸能 ～運動会の様子から～



学校のホームページの画像(許可を得て使用)と「投稿ボックス」で提供されたものです。



兵児踊り



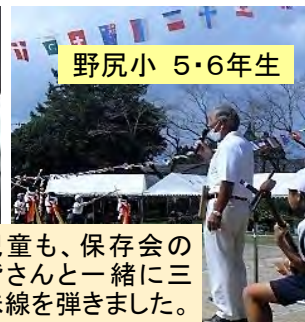
小林小 4年生

兵児(へこ)とは旧薩摩藩で青年男子のこと。天正年間(1573~1592年)、島津氏が、伊東氏との戦いの中で、士気を鼓舞するためにホラ貝や太鼓を打ち鳴らして躍らせたのが起源と伝えられています。

また、諸大名の勢力を警戒した徳川幕府に対し、表面上は農民の娯楽と称し、一方では青壮年の武芸集団訓練を兼ねて軍楽を舞踊化したという説もあります。



棒踊り



野尻小 5・6年生

児童も、保存会の皆さんと一緒に三味線を弾きました。

今から約400年前の朝鮮出兵の折、帰還した薩摩藩主島津義弘の戦功を祝い、領内の各地で踊られたさまざまな踊りの一つが棒踊りであると伝えられています。

一時途絶えていましたが、平成10年、旧野尻町の指定無形文化財になったのを機に復活しました。現在、野尻小学校と地域との連携及び地域の活性化を目的に、保存会の皆さんが小学校で指導しています。



School Volunteer KSSVCだより

Kobayashi Support Center

小林市教育委員会社会教育課 KSSVC 事務局 (TEL22-7912)

学校向け

「行事や活動を中止したり変更する際は本当に悩みます。でも、今後、それらを元に戻すとすると、かなりのエネルギーが必要になるかもしれません」。ある教頭先生の思いです。

確かに、コロナ禍で変化した生活様式の中には、「このままでもいいのでは？」と多くの人が感じているものもあるようです。

安心はできないものの、少しずつ日常が戻りつつある今、これからの学校と、関係する人々の意識がどう変わるかが気になっています。



郷土芸能 ～運動会の風景～



東方輪太鼓踊り



東方小 5・6年生
東方中生



輪太鼓踊りは、豊臣秀吉の朝鮮出兵から始まったと伝えられています。島津氏が藩の軍勢を率いた際、士気を鼓舞するため鉦や太鼓を打ち鳴らして戦いました。その勇壮な様子を舞踏化したものが起源だとされています。昭和37年に県無形民俗文化財に指定されました。

紙屋城攻め踊り



紙屋小 4～6年生

戦国時代(1570年頃)、伊東氏と島津氏は城の争奪に明け暮れていました。そんな話が語り継がれ、江戸時代(1700年の元禄の頃)、歌や踊りに表現されて城攻め踊りが生まれたと考えられています。その後、高妻神社のほぞ祭りで奉納されていましたが、昭和初期に途絶え、昭和57年、50年ぶりに再現されました。

2回にわたって運動会で演じられた郷土芸能を紹介しました。他にも、コロナ禍で今年は披露できなかった演目もあり、過去の写真を見ながら、来年に期待しているところです。

地域には、新しく生まれた芸能もあります。



幸ヶ丘太鼓

全校児童(運動会)

小林市の魅力は？

須木中の取組より



ドリームジャンボ学園



水がきれいなところですよ。



コミュニケーション活動

最近あった出来事に、「いいね！」「すごいね！」などと、ポジティブに返します。

【講師】外山玲奈さん 全日空 CA(キャビンアテンダント)
小林市地方創生課シティセールスプロモーター
【主催】小林市社会福祉協議会須木支所

外山さんが SNS で発信している小林の魅力のお話について、CA に求められる「挨拶とコミュニケーション」を教えてくださいました。

【質問の答えより】◆ お客様の年齢層でカートの飲み物を変えています。◆ 英語は苦手ですが、ANA の基準(TOEIC600 点など)はクリアしています。

◆ 飛行中の揺れの訓練もしますが、正直怖いです。

でも、笑顔を決やさないよう心掛けています。

◆ 外国での時差が辛い時もあります。

◆ ドリンクを少しでもこぼすと先輩に叱られ、レポート提出です。◆ 嫌なお客様はいません。100%のおもてなしをすれば 100%の笑顔で返ってくると思っています。

【お礼の言葉】「進路はあせらなくても大丈夫！」の言葉にほっとしました。お話を参考に、コミュニケーション力をつけていきたいです。





1・2年生 ものづくり体験学習

◆ ミニ畳の製作(台に、ござとへりを縫い付けて作ります)
※ 指導は畳技能士(ものづくりマイスター)3名の皆さん

東方小 夜の学校探検

家庭教育学級



夏休みの思い出づくりに保護者が企画しました。数カ所のチェックポイントを回って校長室にゴール。ちょっぴり怖くてとっても楽しいレクリエーション。花火のおみやげもありました。

手話の学習

小林中 3年生



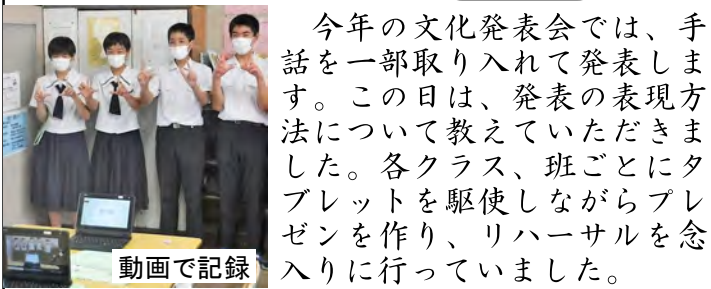
テーマは「40年後の小林市」

指導は「木の実会」と手話通訳者の皆さん



アドバイスをいただきました

「笑う」という表現は、表情も大切です



動画で記録

今年の文化発表会では、手話を一部取り入れて発表します。この日は、発表の表現方法について教えていただきました。各クラス、班ごとにタブレットを駆使しながらプレゼンを作り、リハーサルを念入りに行っていました。



須木中 3年生

こうですか？

◆ 聴覚障がい者とは(ろう者・難聴者・中途失聴者)
◆ 聴覚障がい者の生活とコミュニケーション ◆ あいさつ指文字・自己紹介 ※ 指導は「木の実会」のお2人



紙屋小 3年生



◆ 聞こえない人の生活
◆ 「あなた」と「私」・あいさつ・曜日・天気・数字などの簡単な手話
◆ 指文字 ◆ 自己紹介(10人全員が発表)
※ 指導は野尻手話サークルの皆さん3名

【感想より】 ◆ 手話は難しいけど、家でも練習しようと思います。 ◆ 手話には難しいのや簡単なものがあることが分かりました。 ◆ 楽しく教えてもらい、よく分かりました。 ◆ 楽しく手話の勉強ができて良かったです。 ◆ 難しかったけど、練習してできるようになったのでうれしかったです。 ◆ がんばればできるようになることが分かりました。

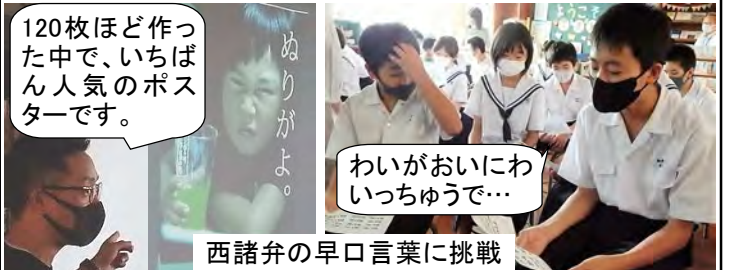
細野中「美しい町小林」学習会

1年生



課題 ⇒ 提案 ⇒ さらなる課題 ⇒ 具体策

講評



120枚ほど作った中で、いちばん人気のポスターです。

わいがおいにわ いっちゅうで…

西諸弁の早口言葉に挑戦

【前半】小林市の課題と解決策を班ごとに発表
【後半】「てなんど小林プロジェクト」についての講話
活動する中でさらなる「小林らしさ」を発見。それが次の活動に繋がったそうです。「細野中生ともコラボができれば」とのことでした。 ※ 講師は、吉丸尚住さん・典宏さんご兄弟
【お礼の言葉】 ◆ これからも課題解決の方法を探していきます。環境問題にも関心をもちたいと思います。
◆ 手段と目的を意識して解決策を考えます。今日の授業はとても面白かったです。





School Volunteer KSSVC だより

Kobayashi Support Center

小林市教育委員会社会教育課 KSSVC 事務局 (TEL22-7912)

学校向け

外部講師による活動が徐々に行われるようになり、学校を訪問する機会が増えてきました。でも、文化発表会や収穫祭などの大きな行事では、保護者は1人まで、地域の方々にはご遠慮を願っているという話も聞いています。

学校運営協議会制度が始まり、地域住民の意見や要望、評価等が教育活動に反映されています。協議会では学校運営の具体的な説明や授業参観もあります。行事が自粛になり、子どもたちの様子を知る機会が少なくなっているのが現状です。その為、各学校は「便り」やホームページ等で積極的に情報を発信しています。

地域の皆さんが、普通に学校に来られる日が一日も早く来ることを願っています。

小学生の時、運動会でも踊った城攻め踊りを、5人の1年生と先生1人が文化発表会で披露しました。緩やかな動きの中にも迫力があり、戦国時代を彷彿させる踊りに、保護者も熱心に見入っていました。

2年生は「修学旅行で学んだこと」、3年生は「宮崎と紙屋の魅力再発見」をテーマに、演劇・クイズ・旅行先や地域の方々へのインタビュー映像なども交えて発表しました。

三松中 岩戸神楽

2年生



文化発表会



舞い手・伴奏・小道具・背景などを全員で分担しました

保存会の皆さん(田原会長)の指導を受け、毎年の文化発表会で披露しています。今年は宮崎市の篠笛演奏家、木浦さん・郡さんも指導してくださり、音色が豊かになりました。学年全員が一つになって神楽を成功させました。

岩戸神楽は350年ほど前から継承されている小林市で唯一現存する神楽です。岩戸神社の「6月燈」(7月30日)で舞われます。



紙屋中 城攻め踊り

～文化発表会～

1年生



手話講座で習った手話歌「糸」(3年生)

手話の学習

指導は手話サークル「木の実会」の皆さん



須木小3年生



細野小3年生



細野小5年生

こすもす科の「手話にふれよう」です。3年生は手話について知り、ジェスチャーと簡単な手話に挑戦。5年生は、聞こえない人が困らないために、自分たちが気をつけることを考えました。どちらの学年も最後は自己紹介。3年生は名前を、5年生は名前と好きなことを上手に発表していました。

いもほり

永久津小 1・2年生



幸ヶ丘小



野尻小
1・2年生



永久津中
1・2年生

トラクターで掘り
起こして収穫



各学校、畑の手入れや収穫作業で、営農組合やJAこばやし、地域コーディネーターなど、多くの皆さんに協力していただきました。

須木小「すき特産」見学

3年生



1日20キロ
むきますよ

手は痛くない
ですか？



【栗の集荷場】栗を大きさに選別する機械や冷蔵室、鬼皮をむく機械の説明を聞き、手作業で渋皮をむく作業を見せられました。

【農産物加工場】ゆずやしょうがを加工しています。エアシャワーを体験しました。

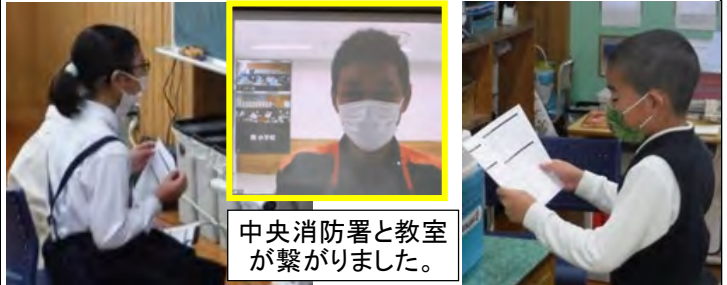


案内の平川さん(すき特産)と子どもたちの会話より…

- ◆ 平川さんの夢は何ですか？
- ◆ 大人になった皆さんと一緒に須木を盛り上げたいです。これは本心です。

南小 消防署オンライン見学

3年生



中央消防署と教室が繋がりました。



さようなら～

2クラスの全員が交替でカメラの前に立って質問。その一つひとつに対して、署員の方が丁寧に答えてくださいました。今後、回答の内容をまとめ、さらに学習を深めます。

小林高校の取組

【協力】トヨタカローラ宮崎本社・小林営業所・JAF宮崎支部・小林キャリア教育支援センター



1年生「キャリア学習」

3輪モビリティ

衝突体験

世の中の進歩と近未来の技術、SDGs、エシカル消費（地球環境や人・社会・地域に配慮した考え方による消費）がテーマの講演会の後、いろいろなワークショップが開かれました。



普段の生活から、さまざまな情報を得ておくことが大切だよ

中学生学習会

西諸島の中学3年生、約80名が参加。国語・数学・英語の授業を、それぞれ1時間×2コマ受講。高校入試のポイントの解説やこれからの学習についてのアドバイスもありました。

【事務局より】「地域学校協働活動」に限らず、学校や地域の特色ある活動、多くの人に知ってほしい活動取材しています。情報をお待ちしています。





School Volunteer KSSVC だより

Kobayashi Support Center

小林市教育委員会社会教育課 KSSVC 事務局 (TEL22-7912)

学校向け

小林中の学校寄席を企画した日本伝統芸能を守る会のパンフレットに、「(コロナ禍で大変な思いをしている) 子どもたちの心を、笑いを通して元気にしたい」とあります。他の鑑賞教室でも、たくさんの笑顔と歓声に出会い、音楽や演劇、伝統芸能のもつ魅力に改めて気づかされました。地域の方々との活動の中でも、生き生きとした表情を子どもたちは見せています。

学校に届ける写真を整理しながら、笑顔の子どもたちに、私たちが元気づけられているような気がしています。

鑑賞教室

野尻小【フルートとピアノの演奏会】



熊谷愛香さん(フルート)
野崎さやかさん(ピアノ)



宮崎市の演奏家お2人によるコンサート。クラシックとディズニーの名曲の演奏と、曲や楽器にまつわる楽しいお話をたくさんしてくださいました。ペットボトル、ホース、哺乳瓶を吹いて音を出るか当てるクイズや手あそび歌もあり、あっという間の1時間でした。

細野小【音楽劇: イソップランドの動物たち】



日本でも古くから知られているイソップ物語のたくさんのお話から8本を選び、歌や踊りで表現しました。歌はアフリカ南部の国に昔から伝わる仕事の歌・子守歌・わらべ歌などです。



演劇集団「遊玄社」(ゆうげんしゃ)の皆さん

細野小では、9月に1・2年生が劇団によるワークショップに参加して、この日の出演を楽しみにしていました。でも、感染防止のため中止に…。それでも、子どもたちは歌声やいろいろな楽器に合わせて手拍子を打ち、動物たちのパフォーマンスを体全体で楽しんでいました。

小林中【学校寄席】



お菊さんの幽霊
見たさに、人が大勢集まって…

最初は落語家の柳亭燕路(りゅうていえんじ)さんによる「落語案内」。落語の歴史や小唄、扇子と手ぬぐいを使った仕草などを、おもしろおかしく解説。その後、仙三さんが太神楽(曲芸)を、燕路さんが落語「お菊の皿」を演じました。



丸一仙三さん(まるいちせんざ)

(密を避けるため、2回に分けて実施しました。)

【お礼の言葉】生の落語は初めてだったので、うれしかったです。落語にはみんなを笑顔にする大きな力があると思います。私もみんなを笑顔にしたいです。

学校寄席

稲刈り

紙屋小 5年生 紙屋中生



誓いの言葉



パンよりごはんが好きなので稲刈りを楽しみにしていました。

いろいろな人の協力を再確認しました。このお米で作ったおもちを食べて、受験を乗り切ります。



【協力】小中のPTA生活指導部・杉元さん(地域コーディネーター)



感謝の言葉



野尻小 3年生

【協力】 営農組合・JA こばやし・美土里ネット宮崎



東麓地区営農組合
合同食育活動 もち米収穫祭



西小林小 5・6年生

【協力】 PTA 環境整備部
JA こばやし青年部

刈る・束ねて結ぶ作業を分担しました。



◆ 農家さんの気持ちを考えて、ごはんをたくさん食べます。◆ 給食は残さないように食べたいと思います。



細野小 5年生

足踏み式脱穀機

お米を育てる大変さを勉強することができました。



収穫したもち米はおもちにして立志式で配ります。

【協力】 JA こばやし青年部・細野まちづくり協議会

※ 稲刈りの様子は次号でも紹介します。



永久津小 シェフの授業

3年生
味覚の授業



甘味(砂糖)・酸味(酢)・塩味(塩)・苦味(チョコレート)・うま味(だし)を味見。鼻をつまむと味を感じません。右端が地井シェフ



6年生 シェフのこばやし食育教室

西小林小と須木小の6年生も参加してリモートで実施。始める前、互いにあいさつを交わしました。



野菜は38種類。約8割が小林産だそうです。

「食品ロスとSDGs」「食事のフルコース」「本日の献立」のお話を聞いた後、ワクワクしながらお弁当のふたを開けて…。鯉のカルパッチョや黒豚のロースト、フレンチおでんなどを食べながら、子どもたちは小林の味の豊かさを感じ取っていました。

どちらも、講師は地井潤さん。ヨーロッパ3か国の日本大使館でシェフを務めた元公邸料理人 Kokoya de kobayashi のオーナーシェフです。



須木中 命の学習

講師は吉鶴星菜さん。市健康推進課(保健センター) 保健師

1年生

仕事についてのお話の後、新生児の人形を抱いたり母子手帳で自分の成長を確認したりしました。また、今後のライフプラン(これからどう生きていくのか)の中で、これまでとこれからの「命のつながり」について考えました。

【質問の答えより】 ◆ 妊娠中の相談では、体調や家庭のことなどが多いです。◆ 母子手帳は日本が発祥ですが、取り入れる国も出ています。◆ 市内でも外国人が増えており、外国語が話せたらと感じています。

【お礼の言葉】 自分のことをどのように見守ってくれていたか、母子手帳を見てよく分かりました。



School Volunteer KSSVCだより

Kobayashi Support Center

学校向け

小林市教育委員会社会教育課 KSSVC 事務局 (TEL22-7912)

手話の学習では、聞こえない人のコミュニケーションの方法について学びます。手話やジェスチャーと並んで紹介されるのが「表情」と「口話(こうわ:唇の動きで発言を読み取ります)」。「コロナで大変困っています」と講師の徳永さん(西諸聴覚障がい者協会会長)。感染対策で有効なマスクも、コミュニケーションでは大きな「障害」になります。「子どもたちの表情が分かりづらい」という先生方の声もよく聞きます。

コロナ禍の不自由をさまざまな場面で経験する中で、当たり前だと思っていた自由のありがたみを、今更ながら感じています。

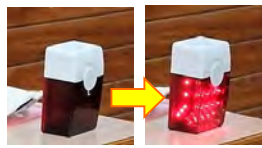
手話講座

永久津中 3年生

小林には聴覚障がい者が200人います



お礼の言葉 (手話通訳)



ボタンを押すと光る「インターホン」

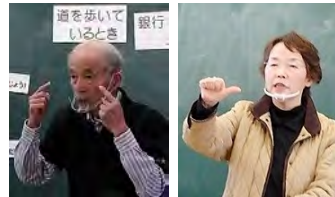
小林に手話の条例ができてすごいと思います。習ったことを家族にも教えて、家でも手話をやってみたいです。

【講師】徳永さん 真方さん

細野中 3年生



補聴器の音にびっくり



【講師】福島さん・宗方さん 徳永さん・真方さん



手話歌「細野中校歌」

【前半】 ◆ 聴覚障がい者とは(ろう者・難聴者・中途失聴者) ◆ 聴覚障がい者の生活とコミュニケーション

【後半】 ◆ あいさつ・指文字・自己紹介

両校ともに、講師は手話サークル「木の実会」のメンバー。会では週に一度、例会を開き研修を行っています。

須木中 視覚障がい者の講演



成澤俊輔さん: 3歳の時、病気で視力を失いました。現在は、障がいやひきこもりで働きづらさを感じている人への支援活動をされています。自称「世界で一番明るい視覚障がい者」(社会福祉協議会主催。リモートで実施しました)

【お話より】 ◆ 目から入った情報で他人と比べて落ち込んだり悩んだりすることはありません。目が見えなくても、とても生きやすい。 ◆ 人生のトラブルやハプニングは、共感してもらいやすい。将来、人と繋がることができます。

◆ 悩みは、誰かと分かりあえる経験になりました。

稲刈り

永久津小5年生・永久津中



3年男子は機械で

1時間半ほどで、刈取りと掛け干しを終わりました。



【協力】営農組合

栗須小

学校田で何十年も続く地域との協働活動。学年混成の16グループで実施しました。



【協力】みかん山スマイル会議他6団体

細野小 そばの収穫

4年生

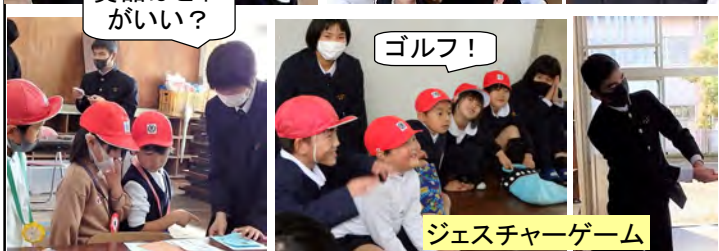
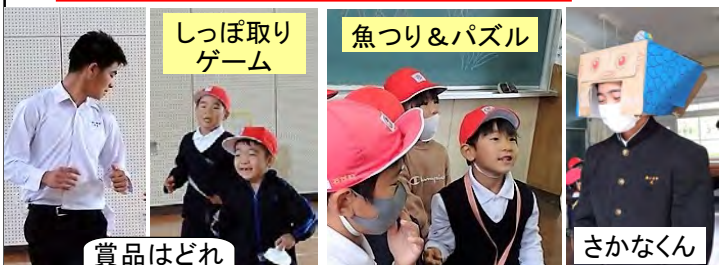


① 鎌で刈ります。② 回転する板が付いた「めぐり棒」でたたいて実を落とします。③ 唐箕(とうみ)に入れて選別します。④ ハンドルを回し、風で葉やちりなどを吹き飛ばすと…⑤ 実だけが出てきます。⑥ 収穫できました！

【感想より】◆ 9月にまいたのに、大きくなるのが早いと思いました。◆ 生長する様子がよくわかりました。◆ 種を取るのが難しかったけど、だんだん上手になってよかったです。◆ 鎌やめぐり棒が使えるようになったのでうれしかったです。

※ 4年生は10月に、そばの花の鑑賞会(スケッチ大会)を行い、そばの生長を観察しました。

西小林小・中・幸ヶ丘小 交流活動



中学3年生(33名)と小学1年生(西小林小27名・幸ヶ丘小2名)の「みんなでやってみよう」。中学生が5つのゲームと手作りのおみやげをたくさん準備して、楽しいひとときを過ごしました。

2つの小学校の交流活動も定期的に行われています。



【お礼の言葉】とても楽しかったです。また遊んでください。(西小林小代表児童4名) 【中学生の感想】みんな元気がよくてびっくりしました。また遊びましょう！(進行係) 【先生の講評】こんなにも準備していただき、きっと、いい思い出になるとと思います。(幸ヶ丘小)

須木小 鑑賞教室

京都を中心に活動している能楽師による「能楽の授業」



前半は歴史や楽器の解説など、後半は事前のワークショップに参加した5・6年生と能楽師の方々との共演。最後に「神楽」と「獅子」を鑑賞しました。能楽の心地よい調べが体育館中に響き、子どもたちは芸術の秋を十分に堪能していました。(感染予防のシートを設置しています)

紙屋中 清掃ボランティア

1・3年生



2年生は職場体験

高妻神社の「ほぜまつり」を前に、毎年実施しています。(今年の祭りは残念ながら中止に)

境内の落ち葉の除去や、拝殿・社務所・トイレのふき掃除などを先生方も一緒に行い、地域を見守ってくれている神社がすっかりきれいになりました。終了後、校長先生と参拝。いろいろな願いが飛び交っていました。

【感想】3年生は合格を祈願しながらできました。1年生はパワーアップしたことと思います。

三松中 花壇植栽活動

1年生



平成22年、三松中と小林土木事務所が道路の環境整備の協定を結び、始まった活動です。場所は「やまさき」前の国道沿い。70名の生徒たちが、土木事務所や造園業の方々と一緒に、パンジーやビオラ、ノースポールなどを1時間余りかけて植えました。

【お礼の言葉】花の名前や植え方を教えていただき、勉強になりました。通る度に、花がどうなっているか楽しみです。

来年こそは、地域と学校の活動が「当たり前」にできることを願って

良いお年をお迎えください！

